

■第2次能勢町男女共同参画プラン フォローアップ

主要課題	検証項目など	これまで（令和5年度まで）の取組みなど	課題や今後の方向性
(1) 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大			
①女性の職域の拡大、積極的な登用	庁内における管理職などへの女性の積極的登用	(H31年度) 20人中・2人 (10.0%)、(R5年度) 25人中・1人 (4.0%)	引き続き女性職員の登用とその環境整備を促す
②審議会等の委員への女性の登用	女性委員の登用の推進	各審議会における女性の割合 (H31年度) 263人中・59人：22.4% (R5年度) 198人中・53人：26.8%	引き続き女性委員の登用を促す
③雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保	女性の就業継続や再就職に対する支援	人権協会が主催する若者就労相談会のチラシを各施設に配架	若者の就労相談に限らず、広報誌などで相談窓口を周知する
(2) 男女共同参画を促す社会環境の整備			
①慣習やしきたりの問い直し	多様な媒体を通じた啓発の実施	町内各所にのぼり旗の掲出（男女雇用機会均等月間・男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間）	のぼり旗の掲出に限らず、講演会などを通じた意識啓発も検討する
②自治会活動やPTA活動などへの男女の対等な参画	自治会活動への参加要請	取組み実績なし	区の活動に対し女性の参加は少ない。婦人会の解散がきっかけとなり、女性の出る場面が少なくなった。慣例的なものが根強くある。
③男女が共同して参画するまちづくりの推進	都市計画への参画	(H31年度) 12人中・2人 (16.7%)、(R5年度) 12人中・1人 (8.3%)	女性委員の参画を促すように努める
④地域社会における男女共同参画の推進	地域活動に関する慣行の見直し	取組み実績なし	講演会などを通じた職員・住民意識の啓発に努める
⑤男女共同参画活動拠点の整備	住民情報コーナー等での情報発信	各施設でのポスターやチラシの配架	チラシに加え広報誌やLINE等を使った周知に努める
(3) 就労における男女平等の推進			
①育児・介護休業法などの周知	育児・介護休業法などの周知	育児休暇取得については対象者へ周知	両制度について広く周知の機会を設ける
②セクシュアル・ハラスメント等に関する啓発	あらゆるハラスメントに対する正しい認識の啓発	取組み実績なし	本テーマによる職員研修を定期的に行うなど、啓発意識の向上に努める
③就労に関する相談、情報提供の充実	就労に関する相談	人権協会が主催する若者就労相談会のチラシを各施設に配架	広報誌などで相談窓口を周知する
④女性の雇用を促進するための支援	仕事と子育て・介護の両立支援サービスの充実	取組み実績なし	両制度について広く周知の機会を設ける
⑤多様な就労形態に応じた支援	ハローワーク等関係機関との連携	随時、ハローワーク等からの雇用関連資料を住民情報コーナーで配架	引き続き周知方に努める
⑥女性農業者の農業経営への参画の推進	農業委員会への女性委員の登用	(H31年度) 22人中・1人 (4.5%)、(R5年度) 13人中・1人 (7.7%)	引き続き女性委員の登用を促す
⑦農林業分野に対する男女共同参画の促進	農林業に従事する女性の経営参加の促進	取組み実績なし	国や大阪府が提供する関連情報の周知に努める
(4) 子育て支援体制の確立			
①男性の育児参加を促し、支援するための啓発及び地域で支える子育て支援	男性の育児参加について理解促進の働きかけ	10年以上前に教職員で男性の育児休暇の取得有り	令和6年度に男性の育児休暇取得に関するリーフレットを作成予定（職員向け）

主要課題	検証項目など	これまで（令和5年度まで）の取組みなど	課題や今後の方向性
②保育所等における保育サービスの充実	一時保育、延長保育、障がい児の受入れの促進	一時保育、保育短時間、延長保育、病後児保育の実施	同体制を継続する
③地域子育て支援センター等における子育て支援	身近な場所における子育て相談の実施	地域子育て支援センターを主に相談体制を確立	同体制を継続する
(5) 高齢者・障がい者が安心して暮らせる環境の整備			
①高齢者の介護体制の構築	医療と介護の連携強化	ふれあいプラザ（診療所・デイサービス・看護多機能居宅介護）に機能を集約し、社会福祉協議会とも連携の上で事業を展開	同体制を継続する
②高齢者・障がい者の生きがい支援	スポーツ、レクリエーションなどの充実	ふれあいフェスタ、いきいき百歳体操などのレクリエーションを実施	同体制を継続する
③高齢者・障がい福祉サービスの充実	高齢者福祉・障がい福祉サービスの充実		
(6) 配偶者等に対する暴力の根絶			
①配偶者等への暴力は人権侵害であることの啓発	啓発活動や講座などの開催	各施設に啓発チラシを配架	講演や映画などによる啓発活動についても検討する
②相談体制、保護体制の充実	暴力を受けた配偶者等に対する相談の充実	庁内、大阪府箕面子ども家庭センターなどとの連携と適切な支援の実施 R4年度シェルターへの移送実績あり（1件）	同体制を継続する
(7) 健康と福祉の増進			
①生涯を通じた健康づくり支援の推進	心身の健康に関する相談体制の充実	総合相談事業、そのほか支援事業（子育てつながり支援・産後ケア）の実施	同体制を継続する
(8) 情報の受発信における男女の人権の尊重			
①メディア・リテラシーへの積極的な取組	メディア・リテラシー向上のための広報・啓発	関係団体と連携した講演会等の開催（令和4年 能勢町人権協会主催による講演会）	同体制を継続し啓発に努める
②男女の多様なイメージの推進	メディアにおける人権尊重のための取組の支援		
(9) 男女平等に基づく教育、学習の推進			
①幼児教育における男女平等教育・保育の推進	就学前教育・保育職員への男女平等教育の必要性の啓発	取組み実績なし	職員研修などを通じた自己啓発の場の提供を検討する
②学校教育における男女平等教育の推進	多様な生き方を選択できる教育環境の整備	関係団体と連携した講演会等の開催（平成29年 人権と平和のつどい・平成30年 人権啓発推進協議会主催による講演会）	同体制を継続し啓発に努める
③学校運営への男女平等参画の推進	女性教職員の管理職への登用	平成30年度以降該当なし	女性職員の登用を促す
④家庭での男女平等の推進	家庭の中での固定的性別役割分担の見直しについての啓発	取組み実績なし	家庭、地域における男女平等意識について、関連団体と連携した講演会・映画会の開催や、人権と平和のつどいを活用した啓発に取組む
⑤地域での男女平等の推進	—	取組み実績なし	
⑥男女平等意識の啓発	—	取組み実績なし	

主要課題	検証項目など	これまで（令和5年度まで）の取組みなど	課題や今後の方向性
⑦セクシュアル・マイノリティの人たちへの理解と、偏見をなくすための啓発	—	(9) -①②に同じ	同体制を継続し啓発に努める
⑧生涯学習における男女平等教育の推進	社会教育関係団体などへの啓発の推進	取組み実績なし	担当部局、社会教育関係団体への働きかけを行う